

平成 26・27 年度の 2 年間にわたって、情報教育の視点を意識した学習指導を推進し、言語活動の充実とともに児童生徒の情報活用能力の育成を図るため、「情報活用能力の育成に関する研究Ⅱ－言語活動の充実に資する ICT 活用の在り方－」を行ってきた。これまでの研究の成果と今後の課題について述べる。

1 研究の成果

(1) 言語活動と ICT 活用の関連の整理

「しらべる」、「まとめる」、「いかす」の学習過程のうち、特に「まとめる」、「いかす」過程における ICT の活用は、児童生徒の情報活用能力を育成すると同時に言語活動の充実に資するものであるという考え方を整理して示すことができた。また、発達の段階に応じた ICT を活用した言語活動について、先行研究や本課の研究を基に整理して新たに示すことができた。

(2) 情報活用能力育成のための ICT 活用授業モデルの提示

情報活用能力育成のための教員による ICT 活用と、児童生徒による ICT 活用について、言語活動の充実を関連付けた授業モデルを示すことができた。教員のモデルでは、学習過程に沿った活用のポイントを示し、児童生徒のモデルでは、「まとめる」、「いかす」のそれぞれの場面に分けて示した。また、児童生徒のモデルでは、研究協力員による検証授業を通してその有効性が確認できた。

(3) 校内研修の在り方とモデルの提示

教員の ICT 活用指導力向上のための校内研修を推進するために、学習指導要領における情報教育の記述の整理と教員の ICT 活用指導力チェックリストによる本県の実態を整理・分析して示すことができた。また、研修の形態を分類し、児童生徒の情報活用能力の育成を目標とした授業研修（理論研修）と ICT 機器やソフトウェアの操作スキルの向上を目的とした研修（実技研修）をバランスよく実施できる具体的な校内研修のモデルを示すことができた。

2 今後の課題

(1) 情報活用能力の育成のための ICT 活用指導力の向上

授業モデルや校内研修モデル等を通して教員の ICT 活用指導力の向上を図る取組について示した。しかし、情報活用能力の育成は、児童生徒の ICT 活用と密接に関連していることから、本研究で示した ICT 活用授業モデルや校内研修モデルを基に、各学校の実状（機器の整備状況や教員の ICT 活用指導力等）に合わせて児童生徒に ICT を活用させる視点を盛り込んだ授業、校内研修の在り方について更に研究していく必要がある。

(2) ICT を活用した言語活動の充実と情報活用能力の育成に向けた方策

言語活動において、また、情報活用能力の育成を目的として ICT が活用されているが、それぞれの活用は、互いの関連を踏まえた効果的な活用までには至っていない。今後は、各学校の年間指導計画に言語活動の充実と情報活用能力の育成を関連付けた ICT 活用を位置付ける啓発を図る。さらに、各学校での取組に生かせるような指導事例の収集等を行うなど、情報提供に努める必要がある。

おわりに

次期学習指導要領改訂に向けて審議が進められている中央教育審議会教育課程企画特別部会がまとめた論点整理において、今後育成すべき資質・能力として、「問題発見・解決に必要な情報を収集・蓄積するとともに、既存の知識に加え、必要となる新たな知識・技能を獲得し、知識・技能を適切に組み合わせ、それらを活用しながら問題を解決していくために必要となる思考」、「必要な情報を選択し、解決の方向性や方法を比較・選択し、結論を決定していくために必要な判断や意志決定」、「伝える相手や状況に応じた表現」が示されている。これは、正に、情報活用能力における情報活用の実践力に共通するところがある。また、論点整理で示された、特にこれからの時代に求められる資質・能力の一つとして「情報や情報手段を主体的に選択し活用していくために必要な情報活用能力」が明示されている。このことは、グローバル化や情報化が急速に進展する社会において、子供たちの情報活用能力を育成することが、今日的課題であることを示している。

当センターにおいては、こうした高度情報化社会の進展も踏まえた「情報教育の推進」のため、本研究主題を設定し、平成24年度から引き続き4年間にわたり研究を進めてきた。この2年間は、「言語活動の充実に資するICT活用の在り方」を副主題とし、ICTを活用した学習活動と言語活動について検討し整理した。また、各学校におけるICTを活用した情報活用能力の育成について実態と課題について調査し、前回調査結果とも比較して示した。そして、児童生徒の情報活用能力を育成する「まとめる」、「いかす」場面における学習活動・内容の指導例、言語活動の充実に資するICT活用や、情報教育の推進に必要な教員のICT活用指導力向上のための方策について示すことができた。

今後も、県教育振興基本計画に示された「教育の情報化の推進」や、次期学習指導要領改訂の論点に留意しながら、県内各学校で、本研究を参考に情報教育の推進に向けた取組が実施されることを期待したい。

【引用・参考文献】

- 文部科学省 『小学校学習指導要領解説－総則・各教科編－』 平成20年12月
- 文部科学省 『中学校学習指導要領解説－総則・各教科編－』 平成20年12月
- 文部科学省 『高等学校学習指導要領解説－総則編－』 平成21年7月
- 文部科学省 『高等学校学習指導要領解説－情報編－』 平成22年3月
- 文部科学省 『特別支援学校学習指導要領解説－総則等編－（幼稚部・小学部・中学部）』 平成21年6月
- 文部科学省 『特別支援学校学習指導要領解説－総則等編－（高等部）』 平成21年12月
- 文部科学省 『教育の情報化に関する手引』 平成22年10月
- 文部科学省 『教育の情報化ビジョン』 平成23年3月
- 文部科学省 『言語活動の充実に関する指導事例集（中学校版）』 平成23年5月
- 鹿児島県総合教育センター 研究紀要第109号 平成17年3月
- 鹿児島県総合教育センター 研究紀要第111号 平成19年3月
- 鹿児島県総合教育センター 研究紀要第118号 平成26年3月
- 文部科学省中央教育審議会 『資料2-1 教育課程企画特別部会論点整理』 平成27年9月
- 教育情報化推進協議会 『教員のICT活用指導力向上／研修テキスト 増補改訂版対応 研修指導者マニュアル』 平成21年3月